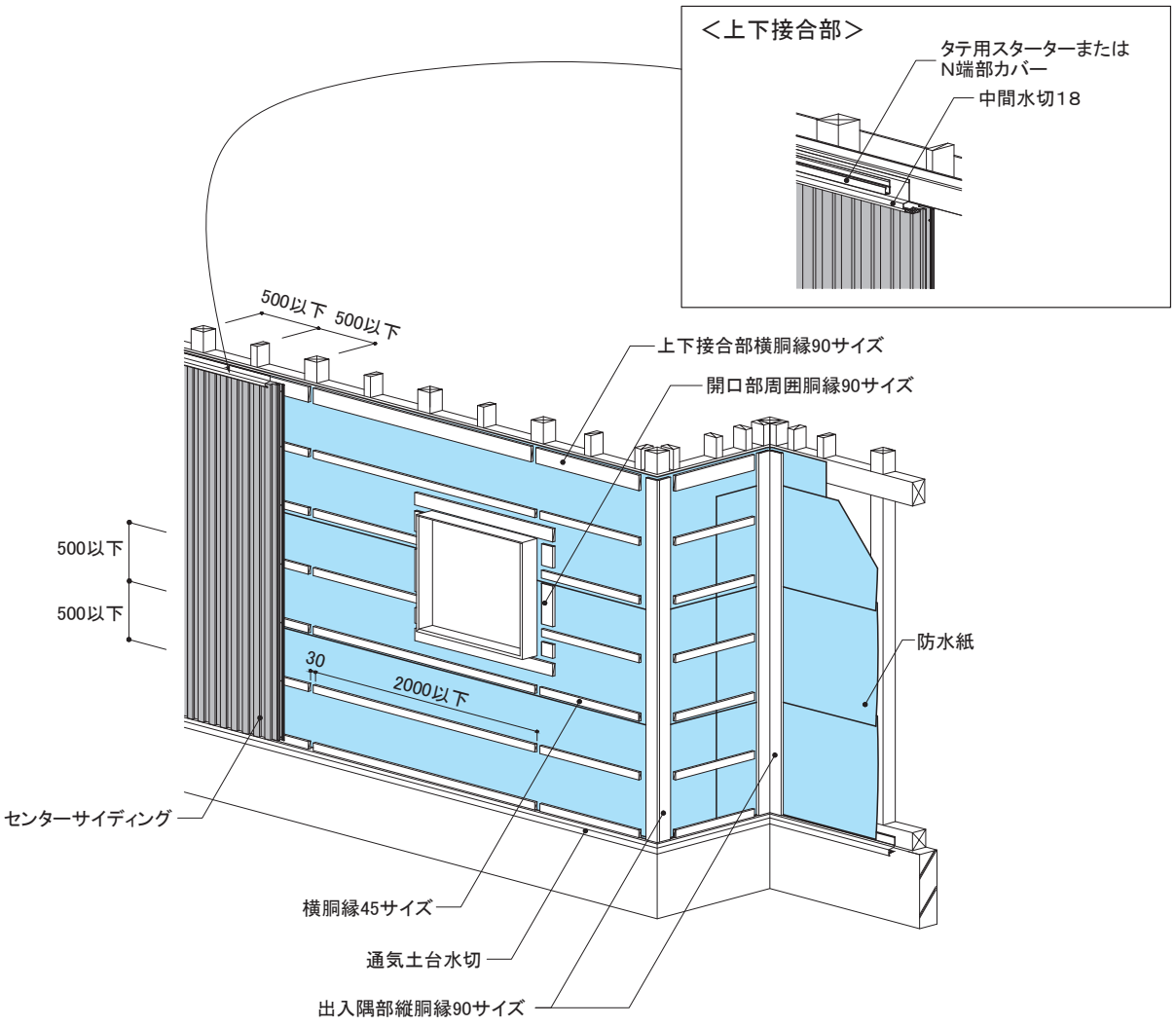
NS型	下　地	留付方法	張り方向	木胴縁組（※）
	木造軸組下地	釘	縦	横胴縁 @500㎜以下

1）基本構成図・下地組図

●通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
●下地は図のように木胴縁を組み、スギ材は厚み18㎜以上、ベイツガ材は厚み15㎜以上の乾燥材を使用します。ただし、耐力面材がない場合は18㎜以上の乾燥材を使用します。
●木胴縁の幅は45㎜以上を標準サイズとし、上下接合部、出入隅部や開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90㎜以上を使用します。
●木胴縁はN65、CN65以上の釘またはφ3．8㎜×50㎜以上の木ビスを使用して500㎜以下の間隔で躯体に留め付け、仕上げ面の不陸（段差）は1．5㎜以下となるように調整して施工します。
●下地組みは必ず通気ができるように、2000㎜以下の間隔で30㎜程度の隙間を設けます。
●横胴縁と開口部まわりの胴縁は30㎜程度の隙間を設け、通気する構造とします。



注意
防耐火構造の大臣認定が必要な場合は、胴縁間隔や躯体サイズなど大臣認定の別添に従い施工してください。

※準耐火構造の柱・間柱・胴縁間隔は認定上、455㎜以下となります。